

1 2013年度の事業総括

	事業	内容
成果		サービス提供時間だけでなくその人を見るのではなく、その人の住んでいる地域(暮らし)を視野に入れて関わる事ができた。地域で亡くなった人に手を合わせに行くことだったり、地域の人がデイに来てもらったりということが成果につながった。また支援のあり方について毎日の終了ミーティングやデイ会議でも話し合うことができ、少しずつではあるがチームとして同じ方向に向いて支援できている。
課題		「本人支援」「地域での暮らし」「つながり」などを今後も意識していくためにはそのツールとなる「センター方式、エコマップ、ライフサポートワーク」を活用して通所介護計画書に落とし込んでいく必要がある。また支援の質を上げていくためには安定した職員体制というのは必要不可欠でその点も充実させていき、来年度の制度改正では大幅な制度改正があっても動じることの無いように業務基盤の安定化を図っていく必要がある。

2 2014年度の事業目標

主課題	「地域でのその人の暮らし」を大切に充実した日々を過ごしてもらう。
項目	内容
品質向上 行事・企画の充実	定期的な部署内研修の企画立案。「その人の最期に立ち会うことが許される人を目指して」個々の心の声を聴いて、繋がりを感じれる企画立案
人材育成	副主任を筆頭にチームの成熟を図っていく。
その他	ヘルパーとの連携・協働、その人の暮らしを支えていくためには在宅の様子を知る必要がある。
その他	本格的な防災訓練の実施。防災自衛計画の作成。
品質向上	

3 月別事業計画

月	事業・行事等	会議	研修計画(内部・外部)
4月	花見	デイ会議(毎月)	内部研修(担当:石川)
5月	母の日手作りおやつ、新緑ドライブ		
6月	保育所交流会、父の日手作りおやつ		
7月			内部研修(担当:堀内)
8月	夏祭り		
9月	敬老週間		
10月	外出		内部研修(担当:坪井)
11月	外出	マニュアル見直し会議	
12月	クリスマス会		
1月	新年会		内部研修(担当:木村)
2月			
3月		デイ企画会議	